

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 神田教室（単位2）		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による個別療育と、日替わりの集団プログラムが提供されている。	療育企画会議を通して、集団プログラムの内容や、注意点、改善点などを話し合っ、改善に努めている。 個別療育も、進捗を共有しながら進めている。	現行の取り組みを継続し、さらなる質の向上と、安全の両立を図ることが出来るようにしていきます。
2	専門的な支援が提供される体制が整っている。	専門職が多く配置されている。	専門職の支援の質向上のための研修や、指導員への療育内容や方法の伝達を行っていく。
3	集中して課題に取り組むことが出来る環境設定をしている。	目で見てわかりやすいような掲示や、構造化を行っている。	職員会などを活用して、その時々に応じたお子さんのニーズに合わせた改善等を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンの出来る個室がない。 職員の休憩できるスペースがない。	パーティションで仕切られているスペースはあるが、個室としては共用のスペースが1室のみであり、すぐに使えるわけではない。	クールダウンの方法など、個々の児童に応じて専門的なかかわりによって出来るだけ早く収束出来るように、情報を共有していく。
2	地域との交流がない。	日々の業務に精一杯になっている。	予定を決めるなどして、取り組んでいく。
3	支援内容の統一への取り組みが不十分と感じる。	決定した支援内容等について、指導員ごとの確認、認識不足や、それが間違いなく実施されているかなどのフォローアップが不十分。	定例の話し合いなどを活用して、支援内容について共有できるようにいき、指導員一人一人が決定した支援内容を遂行できるようにしていくとともに、責任者がその実施状況についてフォローアップしながら、フィードバックを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 神田教室(単位2)

公表日 2025年3月14日

利用児童数

9人

回収数

5人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1				・最大10名まで利用が可能ですが、子ども達の活動に必要なスペースは確保出来ております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1				・毎日の職員配置数は平均4名以上の配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	2				・視覚からも理解できるよう手順表を用いて、お子様が入室できる環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1				・毎日、事業所内の清掃と消毒を行っています。 ・各活動は必要な用具以外置かないようにしています。 ・生活空間は感染症対策もかねて、空気清浄機、加湿器などを使用して過ごしやすい空間づくりを整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1		1		・面談やアセスメントシートを元に、必要な支援項目を選択し具体的な支援内容を設定しております。 ・セラピストを中心に個々の特性に合わせた支援方法を考えて療育を進めております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	2				・子どもたちの特性を理解し、必要に応じ個別検査を実施し、支援を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	4	1				・アセスメントシートの活用や面談を通して、より最適な支援計画書を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1				・面談やアセスメントシートを元に、必要な支援項目を選択し具体的な支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	2				・個別支援計画のもと支援を行っています。必要に応じて、面談も行えますのでお気軽にご相談下さい。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	2				・お子様の状態に合わせ、個別療育プログラムを更新しております。 ・集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成して取り組んでおります。また具体的なプログラムの説明を保護者交流会や面談、日々のやり取りのなかでお伝えしていくように努めます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	2			・保育所等訪問での連携や、関係機関先と連絡帳を使ったやり取り等を必要に応じて行っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				・見学やご契約時に、児童発達支援管理責任者より説明しております。今後も保護者様に対し、丁寧な説明を行って参ります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1				・児童発達支援管理責任者が今後も責任をもって、支援内容についてご説明していきます、お子様への支援を計画のもと行っていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1			・現在は家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後検討していきます。 ・面談などの時間を活用して相談支援に対応しています。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	3	2			・保護者様には、日々の活動や気付きについて送迎時や連絡帳にて必ずお伝えしていきます。また職員につきましては、開始前のミーティング等で細やかな気づきや課題、配慮すべき点について話し合い、ご利用の際に実施できるように取り組んでおります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	2			・6ヶ月に1度のモニタリングの際に、児童発達支援管理責任者が保護者様に支援内容や助言等詳しく説明しております。また個人面談をご希望の保護者様はお気軽にお申し付けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	2			・面談の際等にどういった支援内容を行うのか等話し合っており、利用した際の療育の内容については、毎回HUGアプリや送迎時等にお伝えするようにいたしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	2		・新型コロナウイルスの流行に伴い保護者交流会を開催出来ておりませんが、状況を見て開催を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1			・お子様や保護者様からのお問合せについては、迅速に対応し担当者からの連絡を必ず行うように徹底致します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1			・連絡ツール等にその日の様子を細かく記載していくように努めます。 ・面談の場を設けて、より密な情報共有を行っていきます。 ・連絡帳の公開は、確認作業等がございますので次の営業日の公開となりますが、送迎時にもその日の様子等を詳しく伝えるようにこれからも努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1			・WEBサービスやアプリを活用して、今後も毎日の活動や教室の取り組みを積極的に発信していきます。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	1			・個人情報の漏洩がないよう努めております。個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。書類等は必要に応じてシュレッターで裁断処理しております。今後も十分に注意するように努めます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1			・各種マニュアルは常に教室内に開示しておりいつでも閲覧が可能です。今後はアプリ上においても閲覧可能にします。 ・各マニュアルにおける訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1			・各活動は必要な用具以外置かないようにしています。 ・避難道具等の設置や月に1度の避難訓練も行っております。 ・外出時の安全面についても、職員間で話し合いを行い、情報共有を行っております。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	2			・事故やケガ等が発生した場合には、応急処置を行い、即時にご家族に連絡させていただきます。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1			・安心して通所していただけるように、日々職員間で情報共有等を行って、支援内容等を工夫しております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	1			・「社会性とコミュニケーション能力を養い、将来の自立に向けた支援をする」アルペン清和の理念に則り、療育の強化、活動の充実を図り、日々お子様が楽しみながら学べる環境を整えるための努力をしております。より子ども達の力になれるよう職員一同支援に努めて参ります。

29	事業所の支援に満足していますか。	3		1	1	・今後も保護者様と一緒に、お子様の社会性とコミュニケーション能力を伸ばし、将来の自立に備えた療育に力を注ぎ、保護者様とお子様共に満足して頂ける支援に努めて参ります。
----	------------------	---	--	---	---	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 神田教室 (単位2)				公表日	2025年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・指定基準上のスペースは確保できています。狭い中でも安全に、活動できるよう配慮しながら支援していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・視覚からも理解できるよう手順表を用いて、お子様が生活できる環境を整えています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日、事業所内の清掃と消毒を行っています。 ・生活空間は感染症対策もかねて、空気清浄機・加湿器等を使用して、過ごしやすい空間づくりを整えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・パーティションで個室を整備して環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	・支援プログラムを作成のうえ、HP、アプリ上にて公開を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・月に1度、療育や活動プログラムの見直しを含めた会議を、職員全体で行っています。また集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成し課題を再設定しています。		

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・支援終了後に職員間でミーティングを行い、お子様に対する支援の振り返りと情報共有等をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		・これから、保育所等訪問支援等を通じて各幼稚園や小学校とも連携を図るようにしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・今後、必要に応じて行う予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		・現在はありません。地域の活動への参加で補っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			・初回面談時に、アレルギーの有無を把握し、アレルギーのあるお子様については家庭と連携を図り対応しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				